

# 中西金属工業株式会社



## 在宅勤務環境から利用するアプリケーションのセキュリティを多要素認証で強化



### 製品 & サービス

- ・ Cisco Duo Security

### 課題

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大という予想もしていなかった事態により、これまでの想定を大幅に上回る600名を超える従業員が一気に在宅勤務にシフト
- ・ 従業員間の円滑なコミュニケーションを支えるべく急ぎ導入したビジネスチャットツールセキュリティ対策が急務

### ソリューション

- ・ Cisco Duo Securityの認証方式には、最もシンプルな「アプリのプッシュ通知にワンタップ応答」を選んだ。この認証方式ならITリテラシーの低い従業員もストレスを感じることなく操作することが可能
- ・ Cisco Duo Securityはクラウドベースのセキュリティサービスとして提供されており、既存の社内ITインフラへの影響を最小限に抑えつつ短期間で導入できる
- ・ グローバルで定評のあるシスコ製品ならではの安心感があった

### 結果～今後

- ・ 構築作業はほぼ2～3日で完了し、予定どおりのスケジュールでビジネスチャットツールを多要素認証のもとで運用
- ・ 大きなトラブルを起こすことなく安定した稼働を続けており、在宅勤務のセキュリティ強化に貢献
- ・ VDIやSSL-VPNを経由した社内システムへのリモートアクセス、SaaS利用にいたるまで多要素認証を適用していく

ベアリング・リテーナーや産業用機械などの製造・販売を主力事業とする中西金属工業は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、これまでの想定を大幅に上回る600名を超える従業員を在宅勤務にシフト。リモートでの円滑なコミュニケーションを維持し、業務を継続するためにビジネスチャットツールを導入しました。さらに、その利用環境のセキュリティを強化すべくCisco Duo Securityを導入。多要素認証をシンプルに適用することで安全かつ快適なユーザー環境を実現しています。

既存の社内ITインフラへの影響を最小限に抑えつつ、最も短期間で導入できる多要素認証の基盤と判断されたのがCisco Duo Securityでした。また、その背景としてグローバルで定評のあるシスコ製品ならではの安心感もありました。

—— 中西金属工業株式会社 経営企画部 情報処理グループ 前田 壮太氏

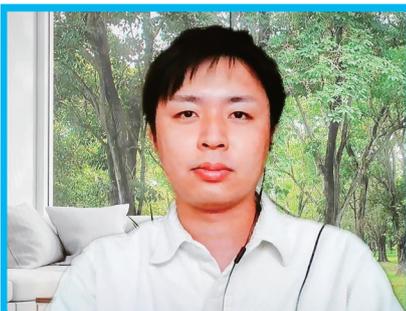
1924年に創業し、まもなく100周年を迎える中西金属工業。自動車関連やさまざまな産業用機械、電気製品の心臓部として活躍する「ベアリング・リテーナー」をはじめ、自動車の各種生産ラインに対応する「コンベアシステム」、住環境をより快適にするサッシなど住宅用製品の3つの事業を柱とするとともに、さらなる持続的成長に向けて新たな事業にも積極的に参入しています。

### 課題

#### 早い時期から在宅勤務の取り組みをスタート

約4,500名の従業員を擁する中西金属工業は、ダイバーシティの推進、社員の個性を活かす人材育成、地域社会と共生・協働に向けた活動など、社員一人ひとりが社会の重要な構成員として、より主体的に社会と事業に携わるような取り組みを行うとともに、働き方改革の観点からは製造業としては例の少ない在宅勤務も積極的に推進しています。

中西金属工業の経営企画部 情報処理グループ 前田壮太氏は、「工場勤務者はどうしても対象外となってしまいますが、営業系や事務系などのデスクワークを中心とする従業員については、会社は『基本的に希望者全員の在宅勤務を認める』という方針を示しています。これを受けて私たちIT部門としても、在宅からより安全かつ快適に仕事ができる環境を提供すべく、VDI(仮想デスクトップ環境)の整備を進めています」と話します。



中西金属工業株式会社  
経営企画部  
情報処理グループ  
前田 壮太 氏



中西金属工業株式会社  
経営企画部  
情報処理グループ  
川合 祥吾 氏

従来、在宅勤務を行う従業員はその都度自分のPCを持ち帰り、自宅からSSL-VPN経由で社内システムにリモートアクセスしていました。しかし、PCを待ち運ぶことには移動中や立ち寄り先で紛失したり、盗難に遭ったりする危険性が常に伴います。

このリスクを低減すべく導入したのがVDIなのです。自宅で使用している個人用PCやタブレットなどを利用しますが、それらの端末には会社のデータは一切残らないため、仮にレジャーや旅行などで持ち出した先で端末を紛失したとしても情報漏えいは起こりません。

これまでSSL-VPN経由でリモートアクセスしていた在宅勤務者約のうち、すでに約200名のVDI移行を完了するなど、中西金属工業における在宅勤務環境の整備は順調に進んでいる過程にあります。

### 新型コロナウイルスの感染拡大により 600名を超える従業員が一気に在宅勤務にシフト

ところが、そこに突如として世界を襲ったのが新型コロナウイルスの感染拡大という予想もしていなかった事態です。2020年4月にはついに日本でも緊急事態宣言が発令される状況となり、中西金属工業においても経営トップの判断により「大阪本社は出勤者を50%以下に抑える、感染拡大がより深刻な東京支社では出勤を月1回に制限する」ことを決定しました。この結果、これまでの想定を大幅に上回る600名を超える従業員が一気に在宅勤務にシフトすることになったのです。

同じく同社の情報処理グループ 川合祥吾氏は、「当然のことながら全員のVDI環境の整備は間に合わず、またSSL-VPNも回線の帯域幅がいつばいで、従業員を新たに受け入れる余裕はありませんでした」と振り返ります。

とはいえ冒頭で紹介したように自動車関連をはじめとする基幹産業を支える重要部材を供給している中西金属工業にとって生産や営業活動の停止は許されません。通常どおり業務を継続するためには、それぞれの自宅に分散して働いている従業員間の円滑なコミュニケーションを最低限確保しなければなりません。そこで中西金属工業が急遽導入を決定したのがビジネスチャットツールです。

当然のことながら、たとえ急ごしらえだったとしてもこのビジネスチャットに関してもセキュリティ対策を怠ることはできません。在宅勤務環境からビジネスチャットを利用する従業員のうち、たった一人でもログインIDやパスワードが外部に流出した場合、簡単になりすましによる侵入を許してしまうことになるからです。

では、そうしたセキュリティ対策をどうやって実現するのか——。「複雑なシステムを検討している時間的な余裕はなく、もともとVDIと組み合わせ利用を予定していた多要素認証の仕組みを前倒しで導入することにしました」と川合氏は話します。

## 在宅勤務の環境から利用するすべてのアプリケーションに Cisco Duo Securityを適用し、 社内標準として多要素認証化を推進していく

### ソリューション

#### 「アプリのプッシュ通知にワンタップ応答」による シンプルでストレスのない多要素認証を適用

中西金属工業が前倒しで導入した多要素認証の仕組みとは、Cisco Duo Securityです。これにより従来からのIDとパスワードによる認証方式に、まったく別の認証方式をもう1つ加えることで、アプリケーションにアクセスしようとしているユーザーが「本人である」という信頼性を確立することができます。

もともと多要素認証の仕組みを提供するセキュリティ対策ソリューションは、市場に多数流通しています。その中から中西金属工業はなぜCisco Duo Securityを選定したのでしょうか。最大の理由は活用の手軽さにありました。

例えば何を2つめの認証方式とするのか。一口に多要素認証といっても、ユーザーが所持するデバイスをういた所有者認証、指紋や顔などユーザー本人の生物学的特徴による生体認証などさまざまな方式があります。

## Duo Security が提供する機能

### 多要素認証によるユーザーの信頼



#### 多要素認証

知識要素

所有要素

生体要素

- ✓ ユーザーの認証は瞬時に - ワンタップで承認
- ✓ パスワードに依存しないセキュアなアクセス
- ✓ パスワード漏洩による不正アクセスを防御

### 端末の信頼性評価



- ✓ 管理デバイスかどうかを検査
- ✓ 危険なデバイスを監視
- ✓ 古いバージョンのOSやブラウザの通知
- ✓ Anti-Virus/Anti-Malwareの検査

Cisco Duo Securityも「アプリのプッシュ通知にワンタップ応答」、「アプリでパスコードを確認」、「SMSでパスコードを確認」、「電話着信でパスコードを確認」、「ハードウェアトークンやU2F (Universal 2nd Factor) で確認」、「デバイスで生体認証」といった方式をサポートしています。

「Cisco Duo Securityが便利だと思ったのは、これらの認証方式の中から自社にあったものを自由に選択して適用できることで、私たちは最もシンプルな『アプリのプッシュ通知にワンタップ応答』を選びました。この認証方式であれば会社から全従業員に貸与しているスマートフォンですぐに対応することができ、ITリテラシーの低い従業員もストレスを感じることなく操作することができます」(川合氏)

そしてもう一つの選定の決め手となったのは、Cisco Duo Securityがクラウドベースのセキュリティサービスとして提供されていたことです。

「既存の社内 IT インフラへの影響を最小限に抑えつつ、最も短期間で導入できると判断されたのがCisco Duo Securityでした。また、その背景としてやはりグローバルで定評のあるシスコ製品ならではの安心感もありました」(前田氏)

## 結果～今後

### システム構築を2～3日で完了し 在宅勤務のセキュリティ強化に貢献

先に述べたとおりCisco Duo Securityの本体はクラウドベースのセキュリティサービスです。中西金属工業の場合、オンプレミス側の作業としてはDMZに設置されたサーバーにDuo Access Gatewayをインストールし、クラウド側のDuoサーバーとビジネスチャットツールの連携設定および、Active Directoryサーバー上に作成されたCisco Duo Security用のアカウントでの連携設定が完了すれば運用を開始することができます。

2020年の5月末には多要素認証ソリューションの検討を開始し、6月上旬にはCisco Duo Securityの導入を決定。初回のキックオフミーティングは6月16日に行われましたが、中西金属工業の当初の予定していたのは6月中の本番運用開始です。

「実際のシステム構築は、パートナーのSIベンダーにご依頼しました。今回初めてのお付き合いでカットオーバーまで十分なスケジュールはありませんでしたが、オンサイトの作業はほぼ2～3日で完了し、予定どおり6月からはビジネスチャットツールを多要素認証のもとで運用できるようになりました」(前田氏)

こうしてまずは約300名のユーザーを対象に利用が開始したDuo Securityですが、その後も大きなトラブルを起こすことなく安定した稼働を続けており、在宅勤務のセキュリティ強化に貢献しています。

二要素認証の操作については、プッシュ通知に対してワンタップで応答するだけなので、簡単に扱うことができ、実際に同社ではこれまで特に問題は発生していないといえます。

## VDIやSaaSのセキュリティ強化にも応用

もっとも、現時点で実現したのはあくまでも最低限の取り組みです。サイバー攻撃は巧妙化・悪質化の一途をたどっており、セキュリティ対策はさらなる強化が必須です。

「その意味で在宅勤務の環境から利用するすべてのアプリケーションを社内標準として多要素認証化したいと考えています。具体的にはビジネスチャットだけでなくVDIやSSL-VPNを経由した社内システムへのリモートアクセスにまでCisco Duo Securityを適用する計画です」(川合氏)

また、Cisco Duo Securityが提供するのは多要素認証の機能だけではありません。多様なアプリケーションにアクセスするPCやスマートフォン、タブレットなどあらゆるデバイスを可視化し、各デバイスがどんなOSやブラウザ、プラグインを使用しているのか。さらにそのデバイスは会社から貸与したものか、あるいは個人所有のものなのかといったことまで、様々な情報をダッシュボードで把握できます。

加えてCisco Duo Securityでは、認証時に常に各デバイスのセキュリティ健全性を確認し、必要な制御を行うことができます。正式なユーザーであっても、例えば使用しているOSやブラウザのバージョンが古い場合や、アンチウイルスなどポリシーで義務付けられたセキュリティ機能を有効化していない場合などは、アプリケーションへのアクセスをブロックしてアップデートや有効化を促すことも可能です。

新型コロナウイルスはいまだに収束の見通しが立たず、在宅勤務は今後も続けていく必要があります。そうしたAfter/Withコロナの時代におけるビジネスや働き方の新常態(ニューノーマル)を見据えつつ、中西金属工業ではCisco Duo Securityを基盤とするユーザー環境の整備を進めていく考えです。

# 中西金属工業株式会社



**所在地** 大阪府大阪市北区天満橋3-3-5  
**設立** 1941年6月19日

**従業員数** 連結 4,479名 (2020年3月現在)  
**URL** <https://www.nkc-j.co.jp/>

「モーターの回転部に使われる軸受(ベアリング)の中核部品である「リテーナー」の専門メーカーとして創業。同部品で世界トップクラスのシェアを誇り、自動車メーカーを始めとする世界中のメーカーに製品を提供している。

こうして培った技術を活かし、工場内の生産ライン用のコンベアシステムから、窓サッシに使われる戸車や出窓用ステーといった住宅関連部品までさまざまな事業を展開し、世界中の顧客へとビジネスを展開している。

## シスコ コンタクトセンター

自社導入をご検討されているお客様へのお問い合わせ窓口です。  
製品に関して | サービスに関して | 各種キャンペーンに関して | お見積依頼 | 一般的なご質問

### お問い合わせ先

#### お電話での問い合わせ

平日10:00-12:00, 13:00-17:00

0120-092-255

#### お問い合わせウェブフォーム

[http://www.cisco.com/jp/go/vdc\\_contact](http://www.cisco.com/jp/go/vdc_contact)



©2020 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2020年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>